

## 日・フィリピンヘルスケア合同委員第3回会合のサマリー

1. 2019年2月21日に署名された日本とフィリピンとのヘルスケア分野における協力覚書の枠組みの下、継続的な協力と対話を促進するため、協力覚書に基づくハイレベルの諮問機関である日・フィリピンヘルスケア合同委員会（以下、合同委員会）の第3回会合が2024年7月18日に東京で開催された。
2. 第3回会合は日本が主催した。高市早苗 内閣府特命担当大臣 健康・医療戦略担当及びテオドロ・ヘルポーサ保健大臣が共同議長を務めた。
3. 合同委員会は、2023年3月17日にフィリピンが主催した合同委員会第2回会合以降の、協力覚書の下での様々な協力分野における両国の共同の努力による進展を認めた。
  - ユニバーサル・ヘルス・カバレッジについて、合同委員会は保健財政への現在の取り組みに関する最新の状況を歓迎した。テオドロ・ヘルポーサ保健大臣は、この取り組みの更なる推進に対する期待を述べた
  - 先端医療技術、医薬品及び医療機器について、フィリピン食品医薬品庁・フィリピン保健省と医薬品医療機器総合機構（PMDA）・厚生労働省との間の協力覚書に向けた進展を歓迎し、直に署名されることに対する期待が述べられた
4. 第3回ヘルスケア合同委員会では、双方のがんや救急・災害医療に関する体制や仕組みの情報共有がなされ、今後も引き続き活動を推進していくことを確認した。
  - 合同委員会は、フィリピンの災害医療にけるリスク低減とマネジメント、日本の救急医療体制や災害医療体制に係る取組状況を共有した。
  - 合同委員会は、フィリピンのがん予防対策・研究開発、日本のがん対策基本法・がん対策推進基本計画を紹介した。フィリピン側より、予防・スクリーニング（がん検診）及びがん登録に関心が示され、今後の知見の共有の推進に期待を示した。

5. 合同委員会は、協力活動の進展を確保するため、定期的な二国間の協議の重要性を確認した
6. 2025年にフィリピンが主催する合同委員会第4回会合の開催に期待を示した。